

# チャリティコンサート 心ひとつに

ふるさと福島 ふるさとチェルノブイリ ふるさと横須賀

東日本大震災では、地震、津波、それに原発事故が重なり、3月11日を境に、福島に住む人々の日常は大きく変わってしまいました。放射能のために故郷を追われ、ふるさとに戻れない方が沢山居られます。

特に、子どもたちの受けたきずの深さを考えると心が痛みます。

この度、原子力空母のいる横須賀に住む私たちは、福島の子どもたちを支援するコンサートを企画しました。25年前のチェルノブイリ原発事故で、6歳の時に同じ様に被曝した歌手ナターシャ・グジーさんが出演を引き受けて下さいました。この企画に、篠笛奏者の村山二郎さんと、三浦太鼓「和太穂」の皆さんも賛同出演して下さいます。和と洋のステージはきっと素晴らしいものになるでしょう。

皆様のお出でをお待ちしています

収益金のすべてを、福島の子どもたちを放射能から守る活動のために使わせていただきます。

出演—ナターシャ・グジー 村山二郎 & 三浦太鼓「和太穂」

とき—8月26日(金) 開場 午後6時半 開演 午後7時

ところ—ヨコスカ・ベイサイドポケット

チケット—前売券 ¥2,000・当日券 ¥2,500 (全席自由・招待席あり)  
(小・中学生 ¥1,000)



撮影・広河隆一



主催 「心ひとつに」実行委員会 代表 岩崎美佐子

チケット問い合わせ 岩崎 : tel 046-852-5077

田村 : tel 046-865-3450

丸岡 : tel 046-848-5903

## ナターシャ・グジー(歌手・バンドウーラ奏者)

ウクライナ生まれ

ナターシャ6歳の時、1986年4月26日未明に父親が勤務していたチェルノブイリ原発で爆発事故が発生し、原発からわずか3.5キロで被曝した。その後、避難生活で各地を転々とし、キエフ市に移住する。

ウクライナの民族楽器バンドウーラの音色に魅せられ、8歳の頃より音楽学校で専門課程に学ぶ。1996年・98年救援団体の招きで民族音楽団のメンバーとして2度来日し、全国で救援公演を行う。2000年より日本語学校で学びながら日本での本格的な音楽活動を開始。その美しく透明な水晶の歌声と哀愁を帯びたバンドウーラの可憐な響きは、日本で多くの人々を魅了している。

2005年7月、ウクライナ大統領訪日の際、首相官邸での夕食会に招待され、演奏を披露。コンサート、ライブ活動に加え音楽教室、学校での国際理解教室や、テレビ・ラジオなど多方面で活動しており、その活動は高校教科書にも取り上げられている。

公式ホームページ：<http://www.office-zirka.com/>

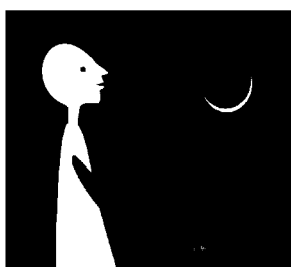
## 村山二郎(篠笛奏者)

1989年に和太鼓集団「鼓動」のメンバーとしてプロデビュー。

1991年に自己バンド「レブンカムイ」を結成し、独自の和洋楽器混成スタイルを確立。コンサートホール、神社仏閣、酒蔵など様々な空間で演奏を展開、好評を得る。これまでにCDアルバムを5枚発表し、海外25ヶ国で篠笛の魅力を紹介。現在、東京打撃団(太鼓)のメンバーとして活動する傍ら、慶應義塾普通部非常勤講師を務めている。著書に「イラストで見る篠笛ワークショップ(音楽之友社刊)」がある。

## 三浦太鼓「和太穂」

2000年5月に発足し、村山二郎氏の指導のもと活動してきた。村山氏のオリジナル曲を中心に日本各地に伝わる伝統曲にも取り組んでいる。老人健康施設などでの演奏、小学校の授業の一環とした演奏・ワークショップを行なっている。2010年には十周年記念演奏会を成功させた。



交通案内  
・京浜急行汐入駅前  
・JR横須賀駅より徒歩8分

ベイサイド・ポケットの入り口は横須賀芸術劇場と同じ4階です

